

事 記

◎第1回理事会(昭30.6.20.)出席者:菊池会長,藤井,種谷両副会長,山本,江里口,飯田,柴橋,星莖,後藤,平井,河北,上野の各理事,青木前会長,篠原前理事,議事:1)5月中の行事その他報告,2)各理事担当部を次のとおり決定した。

総務部長	山本 三郎	同次長	江里口正夫
経理部長	飯田房太郎	〃	柴橋 種造
編集部長	星莖 和	〃	後藤 正司
調査部長	上野 省二	〃	畠山 正
研究連絡部長	平井 敦	〃	河北 正治

3)他学協会との連絡担当理事を決定,4)夏季講習会の細目決定(別項お知らせ欄参照),5)編集委員の改任について

〔留任〕

久保慶三郎	応 力	東大生研
林 一幹	測 量	中央大学工学部
大宮 克巳	鉄道橋構造物	国鉄,鉄研
西畑 勇夫	河 川	建設省河川局計画課
徳平 淳	上下水道 (兼 幹 事)	東京大学工学部

〔新任〕

猪股 俊司	コンクリート	極東鋼弦コンクリート振興KK
尾藤 五郎	材料・施工・建設機械	鹿島建設KK企画第二部
神田 雄次	鉄道ニュース	国鉄施設局計画課
菊池 三男	道路ニュース	建設省道路局道路企画課
岸 力	水 理	〃 土木研究所
北岡寛太郎	鉄 道	国鉄施設局保線課
今野 博	都市計画	〃計画局都市復興課
白石 俊多	土 質	国鉄,鉄研
関 慎吾	発電水力ダム	電力技研
竹下 春見	土 質	建設省,土研
長尾 義三	港 湾	運輸省港湾局建設課
林 泰造	水 理	中央大学工学部
針ヶ谷 信	道路橋構造物	東京都建設局道路部
三浦 一郎	コンクリート	国鉄,鉄研

退任の委員は今井勇,吉川秀夫,小松原豊,坂本龍雄,斎藤迪孝,鈴木溪二,長浜正雄,丸安隆和,三上澄,三木五三郎,森勝平,山本浩の12君である。地方委員は各支部より推薦方照会中。

6)会誌抄録委員の改任について

〔留任〕

委員 長	左合 正雄	上水,下水	公衆衛生院衛生工学部
委 員	梅田 昌郎	施工,材料	建設技術研究所
〃兼幹事	千秋 信一	発電水力	電力技研
〃	中村 滋	都市計画	建設省計画局首都建設調査室

〃	樋口 芳朗	コンクリート	国鉄,鉄研
〃	平嶋 政治	橋梁,構造	早大理工研
〃	山口 柏樹	応用力学	東大理工研
〃	渡辺 修自	道 路	建設省道路局道路企画課

〔新任〕

委 員	稲田 裕	河 川	建設省河川局計画課
〃	加藤 勝則	港 湾	運輸省港湾局建設課
〃	小林 正宏	鉄 道	国鉄,鉄研
〃	久野 悟郎	土質工学	建設省,土研
〃	嶋 祐之	水 理	東大工学部
〃	二階堂 宏	上水,下水	東京都水道局下水課

退任の委員は金屋敷忠儀,久保島伸弘,林泰造,半谷哲夫,松本順一郎,渡辺隆の6君である。

7)土木用語常識事典(仮称)編集計画は片平理事に立案を委嘱する。

8)支部役員の改選の結果,支部長,幹事長選任報告

北海道支部長 瀬田 一雄(札幌市第二助役)

幹事長 小川 勝(〃建設部長)

所在地 札幌市北一条西4丁目 札幌市役所建設部土木課内

関西支部長 野田誠三(阪神電鉄KK社長)

幹事長 浦上衛門(大阪市土木局長)(留任)

所在地 大阪市北区南扇町 大阪市土木局内

9)毎日新聞学術奨励金申請者の推薦については編集委員会に一任,

10)会員入退会承認 11)その他

◎各種委員会

1. 編集委員会(昭30.6.27.)出席者:星莖,後藤正副委員長,坂本,吉川,三上,三木,丸安,鈴木各旧編集委員,林(一),竹下,関,白石,今野,北岡,猪股,大宮,岸,尾藤,針ヶ谷,林(泰),三浦,西畑,長尾,菊池,神田各新編集委員,中川書記長,徳平幹事,岡本編集部員。

協議事項:1)昭和30年度編集委員会の運営について,2)会誌および論文集進捗状況報告,3)投稿原稿および新規受付原稿審査委員の決定,4)依頼原稿の件,5)討議依頼先について,6)40巻8号登載論文を次のとおり予定した(増大号)。

椿 東一郎:砂運をとまう掃流作用について,小林 勇他2名:現地軌道の左右レールが受ける非対称応力及び圧力に関する統計学的研究,成岡昌夫:直交異方性板の実験的研究,田中吉郎・小坪清真:アーチダムの温度変化並びに岩盤変形による応力の一計算

法, 君島博次: 上椎葉アーチダムのカールソフメーター等による堤体内部の諸実測に関連した基礎的試験結果の一部, 浅川美利: 土の物理的試験方法の規格に対する統計学的検討, 奥村敏恵・伊藤 学: 西条大橋の応力並びに振動特性について。

2. 第1回会誌編集小委員会 (昭.30.6.10) 出席者: 後藤副委員長, 西畑担当委員, 徳平編集幹事, 岡本編集部員。協議事項: 40 巻 7 号会誌編集について最終的決定を行つた (64ページ)。

3. 第1回会誌抄録委員会 (昭.30.6.10) 左合委員長, 中村, 山口, 渡辺, 小林, 久野, 二階堂, 稲田, 加藤の各委員, 千秋幹事, 徳平編集幹事, 岡本編集部員。

1) 40 巻 7 号登載用として3編を予定 (割当4ページ), 2) 繰越8編, 3) 新規7編について協議した。

4. 第1回海岸工学委員会幹事会 (昭.30.6.29.) 出席者: 本間委員長, 佐藤, 山内 (代畑谷, 坂井) 肥後の各幹事, 堀川用語小委員会幹事, 中川書記長, 棒箸主任, 議事: 1) 本間委員長から港湾協会及び防災協会からの協賛金による委員会予算案の説明の上次回委員会にはかつて決定, 2) 用語集編集は本年度内に一応がり印刷として委員に配布予定, 3) 研究発表講演会は学会誌7月号に公募し, 締切を9月10日, 開催日を11月中旬に予定し, 米国波浪研究会誌の邦訳の説明をも加える, 4) 次回在京委員会は8月中旬開催の予定。

◎その他

1. 第5回応用力学連合講演会運営委員会 (昭.30.6.21.) 出席者: 本間委員長, (土木) 後藤, 久保, 奥村星植, 内田, (航空) 佐貫, 近藤の各委員 (機械) 鶴戸口, 亘利, 田中 (猪), (建築) 城, (造船) 片山, (物理) 阿坂, (応物) 西田の各学協会代表, (委員会事務局) 中川, 堀内, 棒箸, 田中 (誠)。議事: 1) 運営委員のほか各学会代表により講演プログラムの作

成, 2) 特別講演について, 3) 映画について 4) 司会者について。

2. 日本工学会大会行事準備打合せ (昭.30.6.23) 出席者: 石田, 小宮工学会理事, 手塚監事, 日本建築学会, 土木学会からは星植, 平井理事及び中川書記長, 議事: 1) 建築学会の試案に基づき, 開会宣言, 開会式と講演会, 見学会等について協議, 2) 各会員学協会から講演題目, 見学箇所, 映画等の最も好適と考えるもの1個を提案して準備委員会で選定し理事会の承認を求めること。

支 部 だ よ り

1. 東北支部 幹事会 (昭.30.6.21.) 出席者: 市嶋幹事長以下14名, 議事: 1) 本年度支部事業見学会開催について (7月9,10 両日鳴子ダムを見学すること), 2) 地質講習会について (8月3,4 日の予定), 3) 土木学会内規制定について, 4) その他。

2. 中部支部 第3回幹事会 (昭.30.6.7.) 出席者: 杉戸支部長, 鈴木幹事長他幹事16名, 議事: 1) 行事報告, 渉外報告その他, 2) 第2回見学会について (7月23日知多湾衣浦橋, 海岸堤防築造工事), 3) 第2回講演会について (8月帰朝予定の中部電力KK藤本得氏に欧米視察について講演を依頼すること), 4) 9月以降の行事について,

第1回見学会 (昭.30.6.11., トヨタ自動車KK挙母工場及び農林省施行明治用水取入口工場現場) 参加者160名, 名古屋市栄公園を午後1時バス4台を連ねて出発, トヨタ工場に至り約2時間にわたり広大な工場の主要施設, 製造工程を見学し, 技術部長はじめ各専門技術者と質疑を交したのち, 農林省明治用水取入口に至り, 建設事務所長から説明を受け, 取水ダム, 水門その他諸施設を見学し午後5時バスで帰名解散した。

昭和30年6月分入退会報告 (昭.30.6.1~6.30)

1. 入 会	135名	(特3級1, 正30, 准42, 学生62)
2. 退 会	14名	(特3級2, 正4, 准7, 学生1)
3. 転 格	45名	(准より正12, 准より学生7, 学生より准26)

会 員 現 在 数 (昭.30.6.31 現在)

名誉員	賛助員	特別員	1級	2級	3級	正員	准員	学生員	合計	増加数
20	16		32	78	150	5453	6957	1237	13943	121

昭和30年7月10日印刷	土木学会誌 第40巻 第7号	定価 100円
昭和30年7月15日発行		
編集兼発行者	東京都千代田区大手町2丁目4番地	中川一美
印刷者	東京都港区赤坂溜池5番地	大沼正吉
印刷所	東京都港区赤坂溜池5番地	株式会社 技報堂
東京中央郵便局区内	千代田区大手町2丁目4番地	電話和田倉(20) 3945番
発行所	社団法人 土 木 学 会	振替東京16828番